



## 空港津山道路等調査 特別委員会

◎川端恵美子、○倉持照憲  
小栗興治、河本英敏、近藤吉一郎  
松本義隆、美見みち子、森西順次

当委員会は、主要事業である岡山・津山間約六十kmの地域高規格道路を初めとし、都市計画道路である大谷一宮線、総社川崎線等の道路整備について調査研究を行っています。空港津山道路の調査区間、整備区間として国の指定を受けているのは全延長の二十八%の状況であり、今後の整備促進の取り組みが必要であります。現在美咲町から津山市までの七キロについては整備区間に指定され、その内津山北バイパスとして一・六キロは供用開始され、残る五・四キロは津山南道路として着工準備箇所となっています。十七年度では五つの地区において二回の地元設計協議を行い、現在協議中であります。空港道路を初めとする広域幹線道路の整備は沿線地域、住民の発展には最重要課題であるため、当委員会としても国県ともに道路財源の厳しい中ではありますが、今後更に調査研究、陳情要望等に取り組みで参ります。



## 広域行政調査 特別委員会

◎秋山幸則、○野村昌平  
川崎 修、権田直良、庄司勝義  
西野修平、森岡和雄、米井知博

平成十七年五月臨時会において、広域行政調査特別委員会は、その名のとおり、広域行政に関する諸課題について調査研究することを目的として設置されました。

具体的には、圏域消防、圏域衛生処理、広域事務、広域交通体系、ごみ処理等、さまざまな分野における課題があります。今年度は、その中でも、「総合ごみ処理センター建設」に関する諸課題を中心に調査研究を深め、先進地視察も行いながら、論議をしてきました。現在、横山にある最終処分場が満杯に近く、焼却灰を持ち出し処分しています。今後は、不燃ごみの持ち出しや、状況によっては、可燃ごみの持ち出しも迫られる事態となります。このような、ごみ行政の逼迫した状況をしっかりと把握し、引き続き、委員会として出来得る事を見極めながら、広域的・長期的な視野に立ち、多角的に取り組まなければならぬと考えています。

◎ 議員は選挙区内の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れは禁止されています。